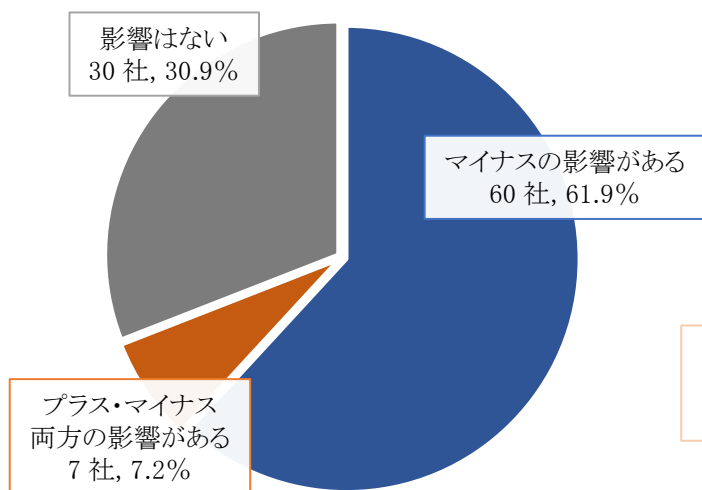


## 円安 (1ドル=135円前後) に関する影響調査

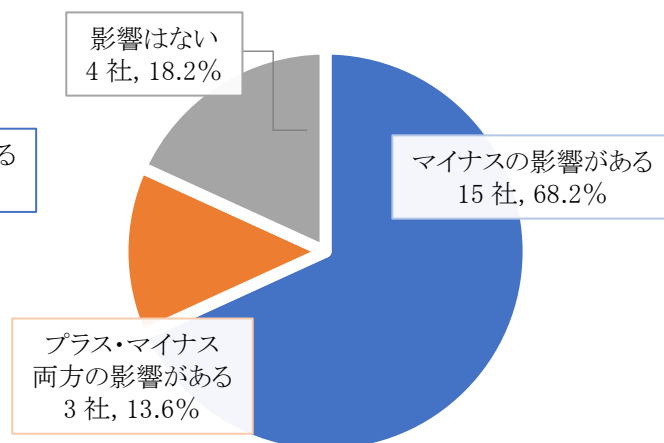
外国為替市場は調査時点（令和4年6月中旬）で、1ドル135円前後まで下落した。円安による北見市内企業への影響（具体的影響、プラス面、マイナス面）について調査を実施した。

調査はインターネット（Google Forms）によって行った。

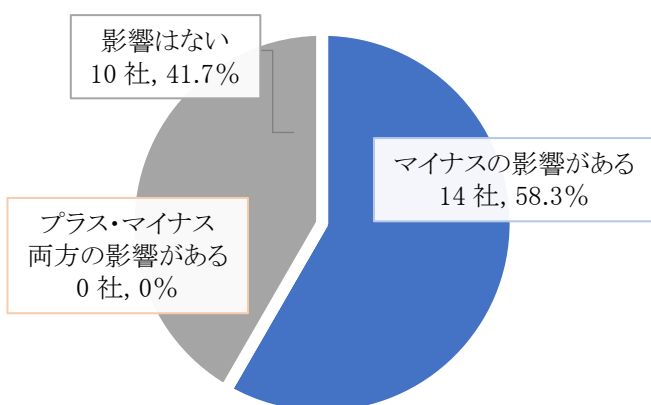
### 業種別の影響



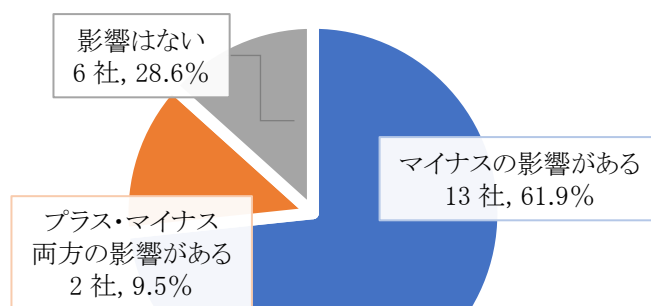
全体



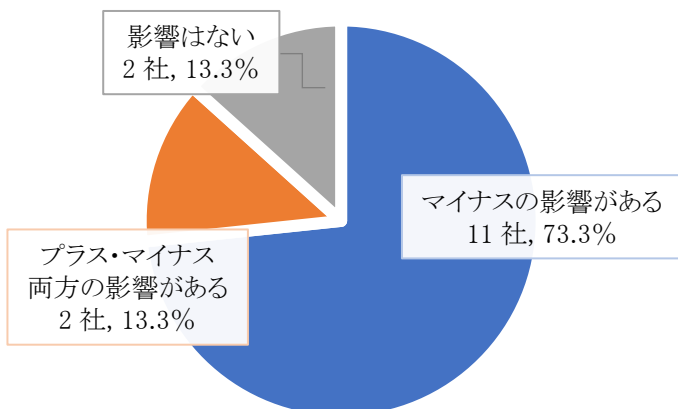
製造業



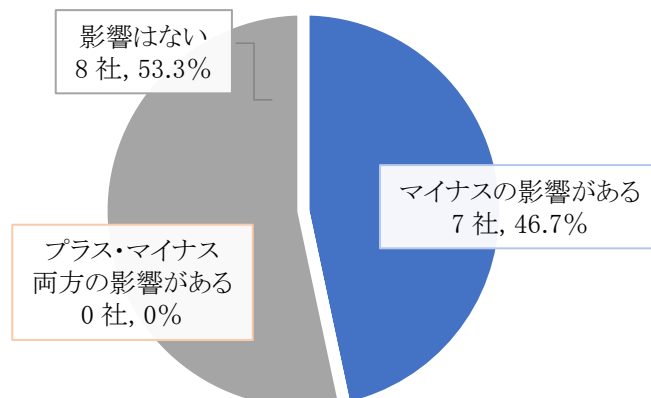
建設業



卸売業



小売業



サービス業

円安加速による北見市内企業への調査回答は「マイナスの影響がある」企業が全体で61.9%、「プラス・マイナス両方の影響がある」企業が7.2%、なお、「プラスの影響がある」と回答した企業は0%となった。「影響はない」が30.9%、合計69.1%の事業所が経営へのマイナス影響を受けている結果となりました。

## 円安に関する具体的影響と対応策の記載事項

円安に関する具体的影響とその影響への対応策を自由記述にて回答を得た。

業種	具体的な影響（懸念）点	影響への対応策
製造業	燃料光熱費、原材料の価格高騰、受注量の減少（他7件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の値上げをお願いしている。（他4件）</li> <li>・本年値上げを実施しているが、更なる価格転嫁を検討。</li> <li>・製品の品質を落とす事は出来ないので、価格改定を既に実施したが、再値上げも検討。</li> <li>・仕入材料は多少の買ひだめはしているが、どうにもならない。</li> <li>・仕入れを最小にし、在庫を加工販売。</li> <li>・見積書の有効期限短縮、材料発注を早めに注文し、高騰を是正。</li> </ul>
	ステルス値上げが推奨される業界	ステルス値上げをなるべくしないよう、パッケージ変更に伴う価格変更で対応。
建設業	燃料光熱費、原材料等の価格高騰（他10件）	積算時の価格転嫁
卸売業	原料・仕入価格の高騰、諸経費の増加、資金繰り（他9件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売価格への転嫁。</li> <li>・適正在庫数で推移させていく。</li> <li>・製品在庫の案内、早期検討で受注につなげる。</li> <li>・成り行きに任せる。</li> </ul>
	輸入製品の仕入れ価格の上昇（他2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客への値上げをお知らせしている。（他2件）</li> <li>・経費削減。</li> <li>・今はまだ取り組むまでいってない。</li> </ul>
小売業	輸入品の仕入価格高騰（他2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我慢を強いられる。</li> <li>・仕入れ打率を高める。</li> <li>・競合店の価格を比較しながら対応。</li> </ul>
	仕入価格の高騰	価格に関しては素直に商品を値上げします。
	部品・用品の高騰による、買い控え（他1件）	値引き対応しています。
サービス業	燃料の高騰による光熱費の増、食材・包装材などの原価上昇（他3件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーな価格転嫁は難しいが、できるかぎりの価格転嫁を凶っている</li> <li>・販売価格の見直し</li> </ul>
	物価上昇に伴う原価高、お客様の「無駄金を使ってはいけない」と思う気持ち	マイナスになるくらいなら辞める勇気
	材料費の値上がり	商品の値上げ必要